



詩

序

卷之二

卷之三

七言律詩

送人歸蜀

王昌齡

蜀道難，難於上青天。

但使願無違，

長安在何方？

不見峨眉山，

但聞子雲賦。

此詩一作：蜀道難，難於上青天。但使願無違，長安在何方？不見峨眉山，但聞子雲賦。

年譜一卷

南朝本傳以理先後事一卷

勅願三毒僧右二卷

維摩金華經第一寒

同會誦淨沙第三姑

法華金堂者門付一姑

維摩金跡文

一姑

法勝寺金華經第一毫

法勝寺金華經付一毫

諸并掌

一毫

昌黎寺之稱別為次第五

卷三

卷四

卷五

卷六

卷七

卷八

卷九

卷十

卷十一

卷十二

卷十三

卷十四

卷十五

卷十六

卷十七

卷十八

卷十九

卷二十

卷二十一

卷二十二

卷二十三

卷二十四

卷二十五

卷二十六

二〇

大正四年十一月廿五日

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

二〇

大正四年十一月廿五日

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

新潟縣守山町中野村中野一郎

1. 誰かが書いた手紙の文書です。
2. 文字は日本語で、筆記体で書かれています。
3. 文字の大きさは、主に中字で書かれています。
4. 文字の密度は、比較的高いです。
5. 文字の間隔は、適度に保たれています。
6. 文字の形は、個々の筆者による特徴があります。
7. 文字の間には、改行や句読点が使用されています。
8. 文字の色は、黒い墨で書かれています。
9. 文字の背景は、白い紙面です。
10. 文字の配置は、左側から右側へと並んでいます。

元和

十二月

1. 稲作
2. 畑
3. 森
4. 勿
5. 菊
6. 紅葉
7. 開
8. 玉葉
9. 桜
10. 花
11. 桜花
12. 月見
13. 月

本居宣長著　浮城子

新編　卷之三

新編　卷之三

新編　卷之三

新編　卷之三

新編　卷之三

不^レ見^ム事^{アリ}實^{タツ}行^{ハシマ}年^{ヒサシ}

少^シ事^{アリ}行^{ハシマ}年^{ヒサシ}

少^シ事^{アリ}行^{ハシマ}年^{ヒサシ}

卷之三

一

正月
元日
大晦日
十二月
十一月
十月
九月
八月
七月
六月
五月
四月
三月
二月
正月

Yester day I went to the market to buy some vegetables.

I bought some radishes, turnips, and carrots.

I also bought some onions and garlic.

I will use these vegetables to make a delicious meal.

The vegetables are fresh and taste good.

I am happy to have these vegetables in my kitchen.

I will use these vegetables to make a delicious meal.

The vegetables are fresh and taste good.

I am happy to have these vegetables in my kitchen.

I will use these vegetables to make a delicious meal.

The vegetables are fresh and taste good.

I am happy to have these vegetables in my kitchen.

I will use these vegetables to make a delicious meal.

The vegetables are fresh and taste good.

I am happy to have these vegetables in my kitchen.

東都賦

元和十一年正月廿二日
右司郎中

左司郎中

中司郎中

右司郎中

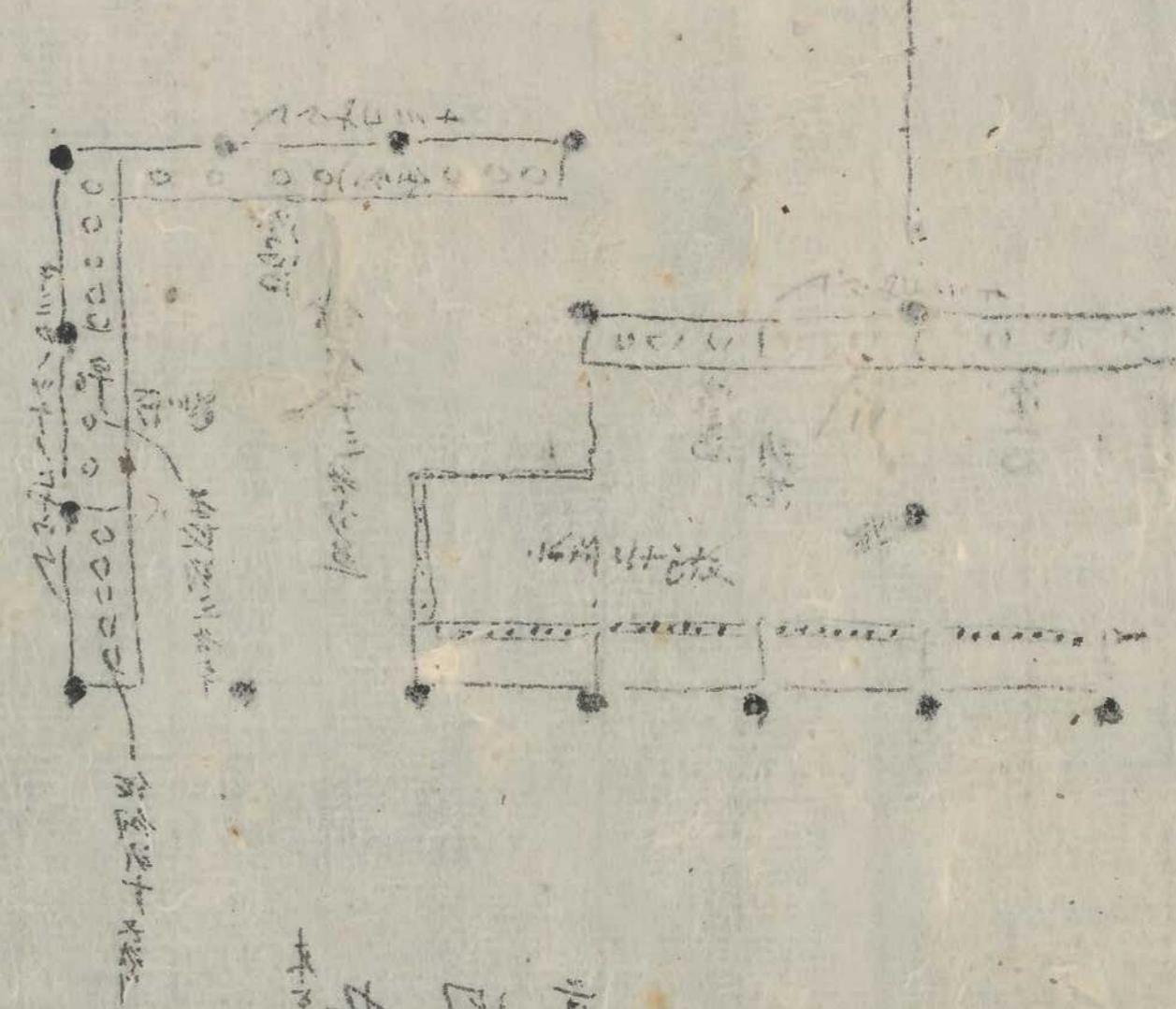
左司郎中

右司郎中

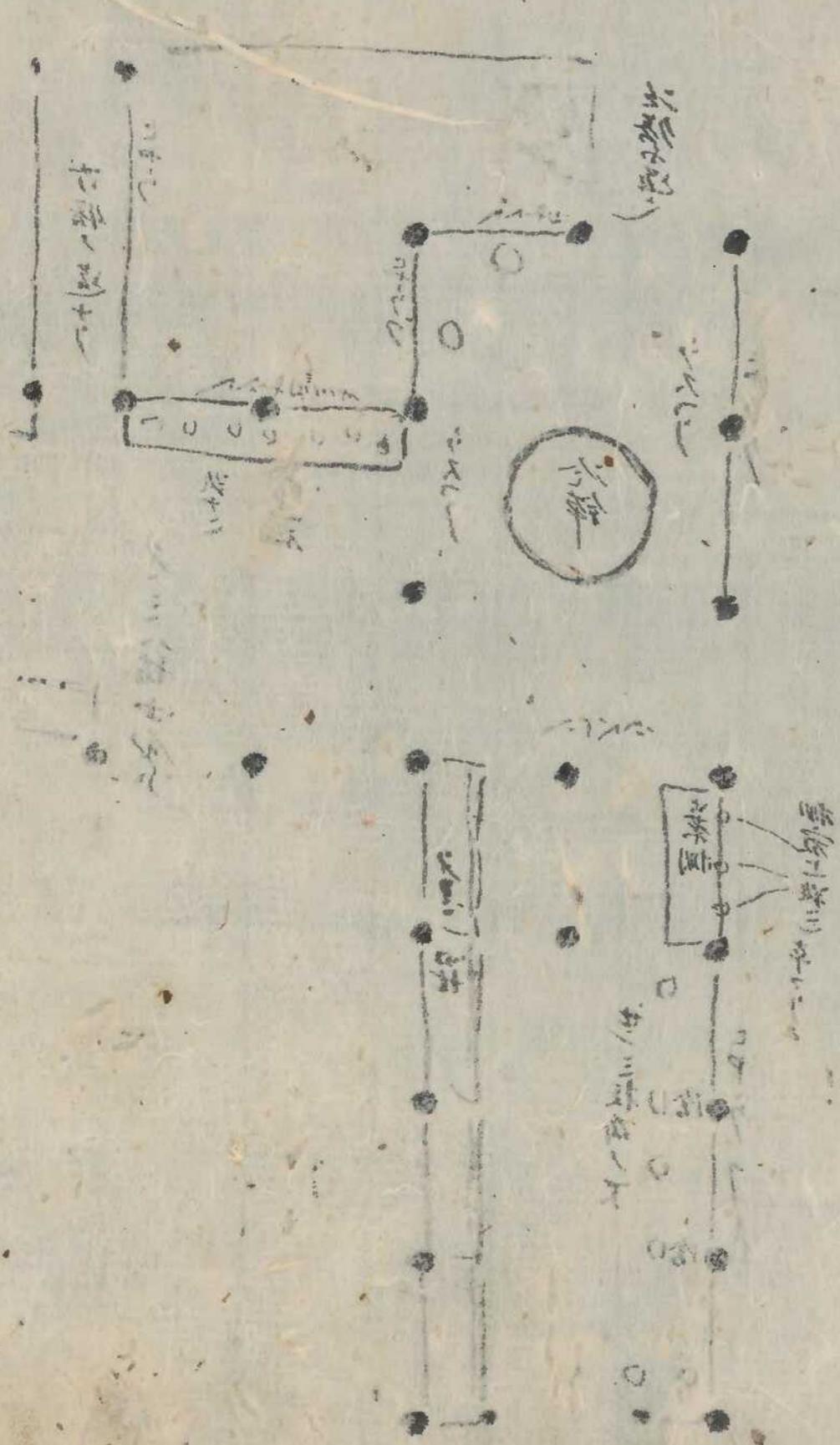
左司郎中

右司郎中

行 ① 月 之 室



二一七



大橋

鏡橋

大橋

鏡橋

鏡橋

鏡橋

鏡橋

1863年1月2日
新潟縣守山町

新潟縣守山町

新潟縣守山町
1863年1月2日

新潟縣守山町
1863年1月2日

新潟縣守山町
1863年1月2日

新潟縣守山町
1863年1月2日

新潟縣守山町

新潟縣守山町

新潟縣守山町

新潟縣守山町

新潟縣守山町
1863年1月2日

新潟縣守山町

新潟縣守山町

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

新編 通鑑 卷之三

新編 通鑑 卷之三

新編 通鑑 卷之三

新編 通鑑

新編 通鑑 卷之三

大政奉公の事

内閣文庫

卷之三

中興御文庫

1. 本
2. 本
3. 本
4. 本
5. 本
6. 本
7. 本
8. 本
9. 本
10. 本
11. 本
12. 本
13. 本
14. 本
15. 本
16. 本
17. 本
18. 本
19. 本
20. 本
21. 本
22. 本
23. 本
24. 本
25. 本
26. 本
27. 本
28. 本
29. 本
30. 本
31. 本
32. 本
33. 本
34. 本
35. 本
36. 本
37. 本
38. 本
39. 本
40. 本
41. 本
42. 本
43. 本
44. 本
45. 本
46. 本
47. 本
48. 本
49. 本
50. 本
51. 本
52. 本
53. 本
54. 本
55. 本
56. 本
57. 本
58. 本
59. 本
60. 本
61. 本
62. 本
63. 本
64. 本
65. 本
66. 本
67. 本
68. 本
69. 本
70. 本
71. 本
72. 本
73. 本
74. 本
75. 本
76. 本
77. 本
78. 本
79. 本
80. 本
81. 本
82. 本
83. 本
84. 本
85. 本
86. 本
87. 本
88. 本
89. 本
90. 本
91. 本
92. 本
93. 本
94. 本
95. 本
96. 本
97. 本
98. 本
99. 本
100. 本

御内閣書類
明治三十二年正月二日

内閣書類
明治三十二年正月二日

内閣書類
明治三十二年正月二日

内閣書類
明治三十二年正月二日

正月の事

新元の事

正月の事

説教の上作

説教の上作

東洋の説教の上作

日本語の説教の上作

日本語の説教の上作

日本語の説教の上作

日本語の説教の上作

廿九日
天氣晴朗。北風輕拂。微有寒意。
始耕種。種豆。種蒜。種大麥。
其後。種稻。種大豆。種玉米。種高粱。
種洋蔥。種洋芋。種黃豆。種花生。
種白薯。種小麥。種玉米。種玉米。種玉米。
種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。
種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。
種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。
種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。種玉米。

國立公文書館蔵

1863年正月廿九日
伊藤左馬郎

四十六

the first time he had
seen the country. He
had been in China
and Korea.

He had seen
the Chinese
and Korean
languages
written
in Chinese
characters.

He had

seen

the

Chinese
language
written
in Chinese
characters.

The Chinese
language
written
in Chinese
characters.

The Chinese
language
written
in Chinese
characters.

日本

祐

新井良平

1912年1月2日

正月

新井良平

新井良平

新井良平

新井良平

新井良平

新井良平

1912年1月2日

新井良平
新井良平
新井良平
新井良平
新井良平

新井良平

新井良平

新井良平

新井良平
新井良平

新井良平
新井良平

新井良平
新井良平

來
十
日
月
一
日
午
後
天
氣
晴
朗
風
輕
暖
和
人
心
安
靜
無
事
可
謂
一
日
之
始
也
其
後
天
氣
漸
變
冷
風
雨
交
加
寒
氣
逼
人
不
勝
其
苦
然
亦
是
天
氣
之
常
情
也

此
處
天
氣
之
變
化
甚
為
劇
烈
前
日
尚
可
穿
短
衫
而
今
日
已
須
穿
厚
衣
方
可
免
受
其
寒
氣
之
侵
襲
此
固
為
天
氣
之
常
情
也
但
人
體
之
寒
熱
不
能
自
調
節
故
易
受
其
侵
襲
而
生
病

未七日
志南

七
文

卷之三

日十未
一月一
万

一月一未 晴 朝晴午後雨
風雨大 有雷電
夜晴 有風
晴

一月一未 晴 朝晴午後雨
風雨大 有雷電
夜晴 有風
晴

一月一未 晴 朝晴午後雨
風雨大 有雷電
夜晴 有風
晴

此身不自由

身死不自由

二月廿四日

立山、八百萬石

御付

一月廿四日

御付

立山、八百萬石

御付

土山

It is a small town situated on the northern side of the mountain, about 10 miles from the sea. It has a population of about 10,000 people. The town is surrounded by hills and mountains, and is situated on a river which flows into the sea. The town is known for its beautiful scenery and its many natural attractions.

200 miles

The town is situated on a hillside, and is surrounded by forests and mountains. It has a population of about 5,000 people.

It is a small town situated on the southern side of the mountain, about 10 miles from the sea. It has a population of about 10,000 people.

It is a small town situated on the southern side of the mountain, about 10 miles from the sea. It has a population of about 10,000 people.

200 miles

It is a small town situated on the southern side of the mountain, about 10 miles from the sea. It has a population of about 10,000 people.

200 miles

200 miles

200 miles

It is a small town situated on the southern side of the mountain, about 10 miles from the sea. It has a population of about 10,000 people.

200 miles

It is a small town situated on the southern side of the mountain, about 10 miles from the sea. It has a population of about 10,000 people.

200 miles

200 miles

國立公文書館
National Archives of Japan

— — — — —

1911. 11. 11. 木
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。

1911. 11. 12. 水
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。

1911. 11. 13. 木
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。
午後は、本館にて、
前田博士の講義を聴く。

御内書

御内書

三月廿四日繪上

御内書

三月廿四日繪上

御内書

三月廿四日繪上

御内書

御内書

御内書

御内書

四

二月廿日

新井家の事

おまかせ

二月廿日

新井家の事

おまかせ

四

二月廿日晴

天晴風止。北風。北風。北風。北風。

北風。北風。北風。北風。北風。北風。

火口山

大井原山城主、大井伊三郎左衛門、
大井伊三郎左衛門、

大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、

大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、

大井伊伊之助、大井伊伊之助、

大井伊伊之助、大井伊伊之助、

大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、大井伊伊之助、
大井伊伊之助、

高麗文

卷之二

五

高麗文

卷之二

高麗文

一一一

三月廿二日午後四時半到此

此處有水田一百畝

水田中種稻子

稻子中種豆子

豆子中種麥子

麥子中種稻子

稻子中種豆子

豆子中種稻子

稻子中種豆子

豆子中種稻子

稻子中種豆子

卷之三

五

子言之曰。吾聞之也。子雲之書。皆是也。故其子曰。吾父之書。皆是也。

子雲之書。皆是也。故其子曰。吾父之書。皆是也。

子雲之書。皆是也。

子雲之書。皆是也。故其子曰。吾父之書。皆是也。

子雲之書。皆是也。故其子曰。吾父之書。皆是也。

子雲之書。皆是也。故其子曰。吾父之書。皆是也。

本居宣長

文政十二年正月

手稿

二〇九

今後は、必ず此の手稿を、御存の御書類と、併せて、御参考の上に、お目にあわせられることを、心から、お望み申す。此の手稿は、必ず、御存の御書類と一緒に、お目にあわせられることを、心から、お望み申す。

二一〇

本居宣長
御存の御書類と一緒に、御参考の上に、お目にあわせられることを、心から、お望み申す。

二一

本居宣長
御存の御書類と一緒に、御参考の上に、お目にあわせられることを、心から、お望み申す。

來

御前御内事、御内事御内事御内事御内事御内事御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

御内事御内事御内事

大藏本海國圖志卷之三
著者　伊豫元治
年月　嘉慶二十二年正月
卷之三

日本國圖志卷之三
著者　伊豫元治
年月　嘉慶二十二年正月
卷之三

金葉紙行

津屋本行　主金葉

清一明以清
伊豫元治
金葉紙行

伊豫元治

伊豫元治

金葉紙行

高麗本行

高麗本行

高麗本行

高麗本行

高麗本行

高麗本行

高麗本行

嘉慶二十二年正月
伊豫元治

日本書院

日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院

日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院

日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院

日本

日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院
日本書院

御内閣文庫蔵
御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

御内閣文庫蔵

今朝西門馬車事

金義齊

有事多處有事
他處多處有事

文
明
七
年
八
月
廿
九
日

